



川崎協同病院院長  
田中 久善

前院長の大山先生の後任として、この四月一日より院長に就任致しました。宜しくお願致します。  
1982年横浜市立大学卒業後、初期研修医として川崎協同病院に赴任しました。内科・循環器科を専門としてきました。  
研修開始後一年目で病院の往診業務に携わるようになりました。当時はまだ往診として診療報酬が認められていない中での診療でした。この頃はまだ家屋環境に関しても、劣悪な家庭が多く、今のような空調がある家は少なく、夏は扇風機で暑さをしのぎ、冬は布団にくるまっています

ような状態でした。このため夏は脱水で入院し、冬は肺炎で入院する方が多くありました。  
中には、サラ金の追い立てから逃げて、もう廃屋となった一軒家で過ごしているところに、往診していたこともあります。扉は外れ、床を歩くと靴下が真っ黒という状態でした。私の地域医療を志そうという素地になった往診だったと思います。  
今は家屋環境はよくなっています。今一方で生活困難な方も増えています。国保料の滞納、資格証・短期証発行、病気になるっても病院にかかれない、こんなことが子どもたちにも及んでいます。お金のあるなかで差別されない、誰でも安心してかかることを目指して、私たちの病院では差額室料は頂いていませんし、無料低額診療制度・外国人ごども医療互助会制度を利用できる地域の医療機関としての役割を果たしていきたいと思っています。



地域連携室 看護師長  
小森 千絵

地域のみならず、諸先生方には、日頃より大変お世話になっております。  
この度、二月十六日付けで訪問看護ステーションより地域連携室に異動、勤務となりました。  
まだ業務にも慣れないことが多く、みなさまにはご迷惑をおかけしていることと思います。知識不足を日々補う努力をし、少しでも地域のみなさまの要求に応えられるよう頑張っていきます。  
現在室長である安西副院長を先頭に看護師二名、ソーシャルワーカー四名、事務一名で入院・転院相談、退院支援、福祉相談など多岐にわたる業務を行っています。昨年は回復期リハビリテーション病棟の増床もあり、地域からの受け入れに力をいれていますのでぜひご利用ください。  
今後も入院の受け入れはもちろんのこと、入院から安心して在宅へ患者様、ご家族ともにお帰りいただけるように、在宅での経験を活かし支援させていただきたいと思っております。  
又、今まで作り上げた川崎協同病院地域連携室の歴史を崩さず、なお情勢に乗り遅れないよう、さらに地域での役割を發揮していけるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



# 笑顔のひろば

## 差別のない、誰もが安心できる医療機関を目指して。

笑顔のひろば「第18号」

平成24年6月1日

発行

川崎協同病院広報委員会

川崎市川崎区桜本 2-1-5

TEL:044-299-4781(代)

FAX:044-299-4788

地域医療連携室だより

2012年4月2日

# 総勢 42名のフレッシュな職員を迎えて…



さわやかな晴天の中、川崎医療生協（三九名）と川薬株式会社（三三名）合同の入職式がかりんビルで行われました。原理事長と渡部代表取締役社長の歓迎の言葉を真剣なまなざしで聞き入る姿は初々しい限りでした。入職式に続けて「新入職員研修」を行いました。法人の歴史と理念や職員としてのルールを始め、組合員との模擬班会では自身の健康チェックを通じて地域での健康づくりを体験しました。また、病院企画のお花見ではボランティアの方々の一生懸命さと患者さんの笑顔に元氣と一緒に過ごす楽しさを実感しました。

研修の終盤には三年目の研修医二名が進行役となり他十四名の先輩が参加して「先輩へ伝えたいこと…先輩へ聞きたいこと」と題したワークショップを行いました。ワークショップの前後では就職したきっかけやここで働き続ける理由、川医協で働く魅力などを、実体験を交えて語りました。

教育人事課 阿部ひとみ



# 新人職員紹介



リハビリテーション科 部長  
加藤 弥生

はじめまして。この度四月から入職となりました、リハビリテーション科の加藤弥生と申します。

出身は横浜です。大学卒業後からは、横浜市大で研修医の後、リハビリテーション科に入局し、専門医を取得しています。

専門はリハビリテーション全般ですが、ここ一〇年は主として脳疾患の急性期リハにかかわっていました。

また、認定産業医、労働衛生コンサルタントでもあり、直近の二年間は企業の専属産業医をやっていました。今回は再度臨床医に戻ったわけで、私自身もリハビリ中といったところで、私生活では、家族は夫と二〇歳、一五歳の息子がおります。片付かない我が家をあきらめている毎日です。

どうぞよろしくお願ひします。



皮膚科 課長  
竹林 英理子

今年四月より皮膚科医として勤務している竹林英理子と申します。

非常勤務が長かったこともあり、勤務当初は必要以上に緊張していましたが、皆さんのあたたかい気遣いに囲まれ、やっと慣れてきました。ありがとうございます。

当院はプライマリ・ケアに力を入れてると伺いました。自分自身も患者さんに寄り添うような医療を心がけたいと思っております。

木曜日午後の研修日は横浜市立大病院皮膚科で膠原病外来をお手伝いしています。その他の分野でも自分にできる限り尽力したいと考えていますので、どうぞご相談ください。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

# NEW FACE

# 「第三十五回お花見会」開催



今年も毎年恒例のお花見会が、大島第三公園で二年ぶりに開催する事ができました。おとしは雨天で中止となり、昨年は震災で桜川公園へ散歩するお花見会となりました。東北・福島はまだまだ復興には時間がかかっています。

例年よりは開花の知らせが遅く、しかも二三日前には嵐のような日本列島全体を襲う悪天候に見舞われてしまいました。その影響もあってか当日は少し肌寒かったものの、桜は散ることなく五分咲きの状態でした。

例年になく多くの患者様の参加で総数七九名の方が参加されました。円を描くように並んだ患者様の輪が一段と大きくなっていました。ストレッチャーで来られた方も二名いらっしゃいました。

当日の天候が一番心配で、防寒着等の準備を病棟ごとに進めていましたが、やはり花曇りもあり風も吹いていて、当日になって毛布をかき集めて患者様の膝や肩にかける形となりました。

洞口理事・佐藤主任の司会で開始となり、新任院長田中久善先生に開催挨拶をしていただきました。今年の新入職員は四二名と自己紹介だけでも一大イベントでした。新入職員の出し物で「手のひらを太陽に」の歌声に、患者様が大きな声で歌ったり、手を動

かしたりと一緒に参加して頂きました。とても皆さんいい表情をされていました。今年は、毎年恒例のパンく競争を變更し、全患者様がパンをとれるように、紐にぶらさがったパンを順番に取る形へ變更しました。病院の出し物はロックソラン、組合さんのすてきな踊りと続いたところ、雨がぼつり、ぼつりと降ってきて、早めの解散となってしまいました。全体で踊る和踊りが出来なかったのが残念ですが、あとから楽しかったと話していた患者様の笑顔で、やっぱりお花見はいいなとしみじみ思いました。来年も引き続き、楽しいお花見ができるように頑張りたいと思います。

北2階病棟 佐藤照美



# INFORMATION

## 「敷地内全面禁煙」始めました。



2012年4月16日(月)、川崎協同病院でもついに「敷地内全面禁煙」がスタートしました。これまでは病院館内禁煙を実施していましたが、受動喫煙の防止や病院利用者の健康増進を目的として喫煙所を廃止し敷地内禁煙に切り替えました。

2007年にも敷地内全面禁煙を実施したことがありましたが、病院前での喫煙が問題となり、利用者のみなさんから様々なご意見を頂き、中止せざるを得ない結果となりました。

今回は病院入口や駐車場に横断幕や看板の掲示を行い、病院利用者の方々にもピラなどを用いて実施のお知らせを行いました。その甲斐あってか、当日は大きな混乱もなくスタートすることが出来ました。

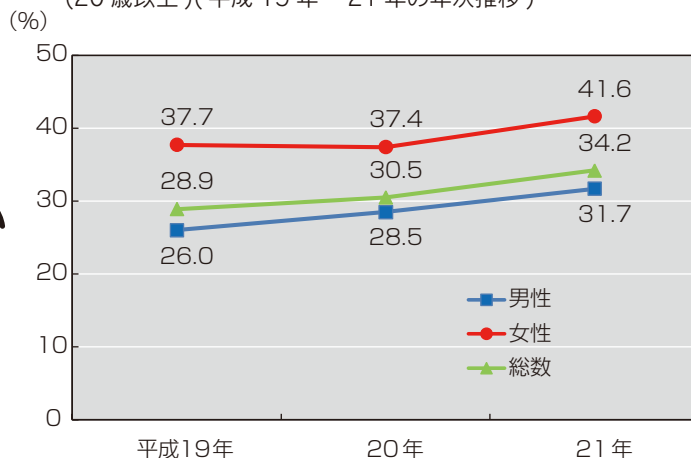
今後は病院内での禁煙外来の開設を予定しております。禁煙外来では特別な検査機器を用いて、呼気(呼吸した時の吐いた息)の中の二酸化炭素濃度を測定し、タバコの依存度を鑑定します。また、依存度に応じて治療方法を検討しますが、現在の治療の主流は飲み薬です。これまでの禁煙補助薬は貼り薬やガムを用いて、ニコチンを接種しタバコを吸わないようにする方法でした。飲み薬による治療は、脳に働きニコチンをほしくならないようにするものです。これにより、禁煙成功率も格段に上がるとの結果も出ています。

これを機に皆さんも禁煙をご検討してみたいはいかがでしょうか？

事務次長 相原 裕之

### 現在習慣的に喫煙している者における たばこをやめたいと思う者の割合

(20歳以上)(平成19年～21年の年次推移)



平成22年度 厚生労働省調べ



### 編集後記

清々しい季節がやってきました今日この頃、まだ朝晩がひんやりと冷えこむのは、きつと緊張気味の新生活や新人職員の姿が目につくからでしょうか？

私ごとですが、我が家にも子どもが三人おります。

この春、三番目がようやく義務教育を終えました。今までは、友達とゆったりと歩いていた通学でしたが、四月からは初めての電車通学となり、一時間早く起き、弁当を詰めて準備しています。毎朝、今まで経験したことがない満員電車で揺られ、学校に到着する頃には疲れ果ててしまっているようです。部活をやっていることもあり帰宅は夜八時過ぎる毎日です。帰ってきてまずは、自分の洗濯を先にしています。本日は「ご飯」っていいところでしょうが、自分で洗濯をしてからご飯を食べる」というルールを作ったようです。このルールもいつまで続いてくれるのかなと思っていますが、今は黙って見守っています。

自分に負けず、何事にも挫折せず、前向きに挑戦していつか欲しいと思います。頑張れ、新一年生……！

この広報紙(笑顔のひろば)も、毎号楽しみに待っているよと言われるような内容にしていきたいと思えます。これからもよろしくお願致します。

地域連携室 柳井 房子

